



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

# しらこぼと

## 2011.3

No. 323

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



# 長瀬町宝登山(宝の山)に鳥見

井上幹男(長瀬町)

今回紹介する探鳥コースは長瀬駅前から宝登山(497m)のロープウェイ山頂駅広場まで登ります。このコースは、毎年3月に探鳥会が開かれ、鳥以外にも山野草や山頂にある梅園の花が楽しめます。ゆっくり登れば、体力に自信のない方でも問題のないコースだと思います。しかし、履きなれた運動靴と飲み物の用意をお願いします。

## ● 宝登山(宝の山)に登る

3月のこの季節は、まだ雑木林の中まで見通しが良く、小鳥類、上空ではノスリなどの猛禽類を観察しやすいこととお勧めです。数年前から、スギ・ヒノキの多くが伐採され、これらの跡にヤマザクラやカエデなどの落葉樹が植えられています。こうした伐採された跡地にはホオジロの仲間を多く見ることが出来るようになりましたが、キツツキのように森を好む鳥たちの姿は少なくなりました。

## ● 鳥見に出発

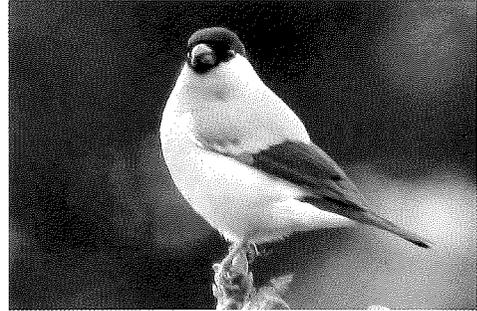
駅前から正面を直進して国道140号線を渡り、白塗りの大鳥居をくぐり、宝登山神社への参道を進みます。桜並木にはウソが姿を現すこともあります。サクラのつぼみを食べるのですが、おいしいのでしょうか？

前方にはこれから登る宝登山が見えます。猛禽は飛んでいませんか？ 上空にも目を配ります。やがて、かき氷に天然氷を使用する阿佐美冷蔵店前を通り、宝登山神社入口の公衆トイレ前につきます。探鳥会のコースでは、左の道を進みロープウェイ駅駐車場に向かいますが、今回の紹介では直進して神社の本殿に行ってみましょう。

## ● 宝登山神社に寄り道

本殿は巨木の森に囲まれムササビなどの動物が住んでいます。宝登山神社は宝の山に登るという縁起の良い名前を持ち、長瀬のシンボリック的存在で秩父神社、三峰神社と共に秩父三社と呼ばれています。また、近年1年以上の歳月をかけて改修工事が行われ、新築と替わらぬ美しさに復元されました。お参りをしながらぜひ美しい装飾彫刻などを見学しましょう。

本堂の裏側は静かなので、耳を澄ませて



ウソ

いれば落ち葉をかき分けるシロハラ・トラツグミなどを探せる事も。

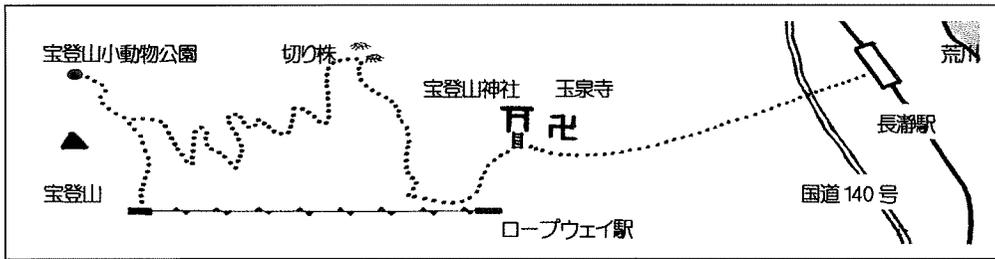
## ● 山頂への道を進みます

登ってきた石段を下りて、案内板の指示に従い山頂を目指します。ルリビタキやアオジなどを探しながら歩くとロープウェイ駅横に着きます。ここを過ぎると山登りの始まりです。ただし、山道は関係者の車両が行き来するので注意しましょう。

道脇の松の木にはカラ類を見つけることがよくあります。キクイタダキも探してください。しかし、上ばかり見ないで足元にも注意、日陰はぬかるんだり滑りやすいところもありますよ。

この先の別荘として使用されていた建物は、今は分譲中で住めば365日バードウオッチング可能？ まあ、我が家の環境も同じではありますが……。その先はミヤマホオジロのポイントです。なんだホオジロかと思わず、双眼鏡で確認してください。思い込みは禁物です。道脇に、湧き水の流れや溜まり、湿地などあればサンショウウオの卵が見つかる可能性大です。興味のある方は要チェック。しかし自然に優しい気持ちをお願いします。

もう一息で、私お勧めの展望所に着きま



す。着いたら切り株で一休みです。北方面の展望が利き、赤城山から日光方面の山々が白く輝いている事でしょう。思わず自分の年を忘れ、大声で「ヤッホー」と……。しかし、誰も居なくてもやっぱり恥ずかしいですよ。

以前、ここはスギやヒノキが植えられていたので、昼間でもうす暗い所でしたが今はその面影はありません。十分休んだら参道にもどります。針葉樹の森を抜けるとあたり一面、開放感のある斜面が広がります。ここからは、ホオジロ、カシラダカなどが多く見られるポイントです。時間をかければカヤクグリも見られます。耳を澄まして、カヤクグリの鳴き声を聞き取りましょう。鈴音のチリリリ……。このような声です、参考までに。しかし、このあたりは広いので、我慢と忍耐で移動しながら丹念に探しましょう。

あずまやが見えてきたら、休むもよし、素通りするのもよし、時間と体力を考えて進みましょう。

### ● 山頂ロープウェイ駅

宝登山動物園の赤い屋根が見えて来れば山頂ロープウェイ駅はもう少し。分岐まで来たら標識に従い、左のロープウェイ駅へと進みましょう。途中の桜の木には、ウソが膨らんできたつぼみを食べに来ていることがあります。

突き当たりがロープウェイ駅で、眼下には長瀬の町並みが一望でき、奥秩父の山々や武甲山、両神山なども望むことができます。隣接する梅百花園では、多品種の梅の花が咲き、香りをただよわせています。

お弁当を用意して来たなら、適当な場所でランチタイムを取りましょう。3月なら、上空に南から渡ってきたばかりのツバメが旋回していることも。

### ● 帰りの楽しみ

帰りのコースはいろいろ。来た道に戻るか、ロープウェイで下るか、体力に余裕のある方は、ここから山頂まで登り、ハイキングコースで下るかなどです。

ハイキングコースは、497mの山頂から根古屋を指す標識に従い、急坂の木段をゆっくり下ります。林道に出たら右折し、道なりに歩き続ければやがて国道140号にたどり着きます。国道を渡り、道なりに進めば秩父線の線路と平行し長瀬駅に着きます。予め地図でよく確認してください。

途中の林道では、キブシ、フサザクラ、ヤナギなどが花をつけ、スマレの仲間が花を咲かせていることでしょうか。実はこの林道、マイフィールドでもあり、多くの野鳥を見ることの出来るポイントなのです。ちなみに、今年の1月現在では、ルリビタキ(♂♀)、ベニマシコ(♂♀)、クロジ(♂♀)、カヤクグリ、コガラ、ヒガラ、シロハラ、トラツグミなどを見ることが出来、羽根も多く拾うことが出来ました。

宝登山、素晴らしい探鳥地です。3月の探鳥会にはぜひお越しください。きっと、新しい発見があると思います、お待ちしております。(写真:編集部)



カヤクグリ



## 野鳥情報

**蓮田市蓮田** ◇10月31日夕刻、自宅庭の木にシジュウカラ10羽の大群?がやってきた。その中にジョウビタキ♂1羽、今季初認。11月9日午前7時頃、ツグミ7羽、電線で鳴いていた。やっと市街地にもやって来た。11月22日午後2時、今季初めて自宅庭にウグイスが来た。12月10日、自宅庭でコゲラ、ウグイス、メジロの合計10羽位の混群。12月26日午前10時、ルリビタキ♂1羽、落ち葉を積んでいた所に少しの間、おりてくれた(本多己秀)。

**渡良瀬遊水地** ◇11月6日、ノスリ1羽、ハシボソガラスと並んで枯れ木の枝にとまっていた。チュウヒ2羽、トビ、ジョウビタキ、ツグミ、アオジ、モズ、コジュケイ。ミヤマガラス30~40羽、群舞(本多己秀)。◇11月23日、アメリカオオハシギではないかとの噂の個体を見た。左足を痛めていた。「ピッピッ」との鳴声なのでオオハシギだと思われた。その他ハイタカ1羽、ハイイロチュウヒ♂5羽(鈴木紀雄)。

**加須市道池** ◇11月6日、コチョウゲンボウ1羽、滑空を交えて、力強いはばたき(本多己秀)。

**北本市北本自然観察公園** ◇11月7日、クイナ、カワセミ、オオバン、コガモ、カルガモ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、アリスイ、ミヤマホオジロ、エナガ10羽十、ジョウビタキ、ウグイス、カケスなど(本多己秀)。◇12月10日午前10時~12時、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、アリスイ、メジロ、シメ、ウソ、モズ、エナガ、キジ、オオタカ、ツグミ、シロハラ、ジョウビタキ♂♀、ルリビタキ♂♀、カシラダカ、カワセミ、バン、カケス、ガビチョウなど。ウソとアリスイは鳴き声だけ(菊川和男)。

**さいたま市岩槻区岩槻文化公園** ◇11月8日、ベニマシコ、マヒワ、アリスイ、アカハラかシロハラ、全て声ばかり。キビタキ♀、アカゲラ。ヒドリガモ80羽十。11月10日、チョウゲンボウ2羽が舞い、ベニマシコ♂

1羽飛び去る。クサシギ2羽。11月12日、ヒドリガモ100羽十の大群。イカルチドリ、イソシギ、キセキレイ、チョウゲンボウ、ハイタカ。マヒワ数羽がアキニレの種子に群れていた。11月16日、マヒワ、アカハラ、ルリビタキ♀。11月21日、マヒワ30羽の群れが飛び回り、ツミ出現。11月24日、マヒワがハンノキにたかる。コブハクチョウ3羽がのんびり。12月5日夕刻、ツグミの群れがいくつも飛び回り、アカハラも混じる。ムクドリ約50羽の群れ2つが次々に竹やぶに突っ込み罨入り。アリスイの声。ヤマガラ、エナガ、カシラダカなど。12月6日、マヒワ3羽がハンノキに。ツミ♀がとび出し、上空へ(鈴木紀雄)。

**蓮田市黒浜** ◇11月8日、上沼でユリカモメ若鳥1羽。上空を旋回するミヤマガラス約50羽の群れ中にコクマルガラス約5羽。その他カシラダカ、ハイタカなど。11月10日、東埼玉病院内でシロハラ今季初認。12月7日、同所で「ジッジッ」と鳴き交わすルリビタキ♀タイプ3羽十(鈴木紀雄)。◇12月17日午前11時頃、東埼玉病院でエナガ5~6羽、コゲラ、シジュウカラ、ウグイス、シメ、シロハラ、カシラダカ6~7羽、アオジ、ツグミなど(本多己秀他2名)。◇12月26日、オオタカ若鳥が3回飛ぶ。他にチョウゲンボウ、ハイタカ、ノスリなど。沼でカワセミ1羽、オオバン2羽、カイツブリ4羽、カルガモ多数(長嶋宏之)。

**さいたま市見沼区膝子** ◇11月9日、ミヤマガラス100羽十の群れ中にコクマルガラス暗色型5羽。11月11日、大きなムクノキにとまるオオタカ若鳥1羽、辺りを睥睨していた。11月29日、北西上空より飛来し、電線にとまったミヤマガラス約150羽の中にコクマルガラス暗色型1羽。12月13日、ミヤマガラス150羽。12月16日、50羽。1月7日、90羽(鈴木紀雄)。◇12月18日、タシギ5羽。ミヤマガラス250羽十、その中にコクマルガラス暗色型を少なくとも5羽確認(小林洋一、小林みどり)。

**久喜市小林** ◇11月9日、ニューナイズメ約30羽。11月25日、ニューナイズメ約100

羽。ミヤマガラス約200羽の群れ中にコクマルガラス暗色型4羽、淡色型3羽（鈴木紀雄）。

**蓮田市根ヶ谷戸公園** ◇11月12日、あちこちでツグミの声（本多己秀）。

**久喜市菖蒲公園** ◇11月14日、昭和沼でカルガモ、マガモ、コガモ、ヒドリガモ、ヨシガモ♂3羽♀2羽、オナガガモ♂1羽♀1羽、ホシハジロ、キンクロハジロ、オオバン10羽、カイツブリ2羽など。カモ類がひとつとおそろったようだ（本多己秀）。◇12月19日、カンムリカイツブリ5羽、オオバン14羽、カワセミ2羽、ダイサギ2羽、コサギ1羽、キンクロハジロ200羽±、マガモ50羽±、ホシハジロ30羽±、コガモ10羽±、ヒドリガモ50羽±（長嶋宏之）。◇12月26日、昭和沼でセグロカモメ1羽。カモはひとつとおそろい渡来しているようだが、トモエガモは見当たらなかった（榎本秀和）。

**戸田市道満** ◇11月23日、彩湖カマキリ公園から道満グリーンパーク間でオオバン、キンクロハジロ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ、カワウ、ユリカモメ、ツグミ、シメなど。12月12日、道満グリーンパーク観賞池南端でカイツブリ、オオバン。枯れアシの蔭にひっそりとマガモ♂2羽♀1羽。なんと20m程先にはマガモ♂とカルガモのペアがしきりに何かを啄んでいた。突然、ミコアイサ♀が急降下着水したが、数分で彩湖方面へ飛び立つ。この池で初見のカワセミ1羽が目の前を一声鳴いて横切った。こんな狭い池にカワウが20分程滞在。岸の低木でジョウビタキ♀、モズ♀、ツグミなど（陶山和良）。◇12月14日、彩湖でヨシガモ♂6羽♀10羽、ミコアイサ♀1羽、ハジロカイツブリ1羽、カンムリカイツブリ5羽、ユリカモメ80羽、オオバンなど（鈴木紀雄）。

**伊奈町小針内宿** ◇11月25日、伊奈総合学園前の県道脇電線でミヤマガラス約50羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市桜区田島** ◇11月26日、武蔵野線南側の彩湖公園でマヒワ約50羽の群れ（鈴木紀雄）。

**蓮田市馬込** ◇11月28日正午、コチョウゲンボウ1羽、電線にとまっていた。11月29日午前6時45分、シラコバト1羽、電線にしばらくとまっていた（本多己秀）。

**さいたま市岩槻区野孫** ◇11月29日、ケリ10羽（鈴木紀雄）。

**松伏町緑の丘公園** ◇11月30日、コガモ、カルガモ、ヒドリガモ、キンクロハジロ、ホシハジロなどのカモたちにミコアイサ♀2羽が混じっていた（鈴木紀雄）。

**越谷市県立健康福祉村** ◇11月30日、ユリカモメ約200羽の大群（鈴木紀雄）。

**さいたま市緑区大門** ◇12月9日、遊水池のアシ原をチュウヒ（恐らく♂成鳥）が飛び回り、タシギ、クサシギ、コチドリなどが逃げ飛ぶ。やがて、狩りを諦めて高空に舞い上がり、北西に消えた。12月13日、遊水池でミコアイサ♂1羽。オオタカ若鳥1羽など（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区野孫** ◇12月13日、ケリ2羽確認（鈴木紀雄）。

**蓮田市西城沼公園** ◇12月20日、カケス1羽、屋敷林に飛び込んだ。ジョウビタキ♂2羽が畑の杭にとまっていた。12月30日、コサギ1羽が沼の岸にジッと立っていた。シロハラ2羽が梅林で採餌、ハイタカ1羽が屋敷林に飛び込み、アオゲラが雑木林の中で鳴いていた。夕方、時に帰る前のひと時、カラスが30羽±、畑で採食。まだ腹が満たされていないのだろうか（長嶋宏之）。

**さいたま市緑区さぎ山記念公園** ◇12月25日、亜種ニシオジロビタキが梅の木で枝移り。ミヤマガラス300羽±が高く舞い上がって樺の木に降りた（長嶋宏之）。

**さいたま市南区沼影市民プール** ◇12月26日、停止中の流れるプールでハシビロガモのペア。ビックリ！（陶山和良）。

#### 表紙の写真

#### スズメ目ヒタキ科キビタキ属オジロビタキ

2011年1月、県南某市のオジロビタキに人々が集まる中、この子のことは数人でひっそりと見守りました。

藤掛保司(川越市)



## 行事案内



ウグイス (編集部)

3月は鉄道・バスの時刻表変更があります。本案内は、執筆当時の時刻表に基づいていますので、変更があるかもしれません。ご注意ください。

### 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：3月6日(日)  
集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。  
担当：玉井、吉安、田中、長嶋、長野、菱沼(一)、榎本(建)、青木、赤坂  
見どころ：風はまだ冷たいけれど、足元の可憐な花が春を感じさせてくれます。北への長旅に備えての支度に余念のない冬鳥たちを探しましょう。藪の中のウグイスの初音が聞こえれば最高。

### 寄居町・玉淀河原探鳥会

期日：3月6日(日)  
集合：午前9時30分、寄居駅南口駅前広場。  
交通：秩父鉄道熊谷8:51発、または東武東上線川越8:27→小川町乗り継ぎで寄居下車。  
担当：小池(一)、井上、後藤、大澤、堀口、鶴飼、岡田  
見どころ：カワセミやイソシギ、カモ類、シメ、ツグミなどの野鳥とともに、ヒメオドリコソウ、ホトケノザなどの野草が出迎えてくれます。荒川と鉢形城跡周辺を歩きます。河原を歩ける靴でお出掛けください。

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章の担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちがあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：就学前の子無料、会員と小中学生50円、一般100円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も(なくても大丈夫)。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後1時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### さいたま市・三室地区臨時探鳥会

期日：3月12日(土)  
集合：午前8時45分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時30分、さいたま市立浦和博物館前。  
担当：楠見、藤掛、増田、柴野、三室地区担当のリーダー有志  
お願いとご注意：「見沼たんぼクリーン大作戦」の一環としてゴミ拾いをいたします。手袋(必須)等の必要な用具をご持参下さい。定例探鳥会より30分遅い集合です。定例探鳥会はいつもの通り翌週の20日(日)に開催。なお参加費は必要とします。  
見どころ：昨年に続いて2回目の参加です。1年間の感謝を込めてゴミ拾いをしながらの探鳥会です。

### 坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月12日(土)  
集合：午前9時、東武越生線川角駅前。  
交通：東武東上線川越8:10→坂戸で越生線乗り換え8:39発。または寄居7:38→小川町乗り継ぎ、坂戸で越生線乗り換え。JR川越線大宮7:35→川越で東武東上線乗り換え。  
担当：山口、青山、久保田、志村、高草木、杉原、高橋(優)、藤掛、藤澤、増尾、持丸  
見どころ：春の息吹を感じながら、野鳥を探します。高麗川の水もぬるみ、足元の草花も春の気分にしてくれます。

## 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月13日（日）

集合：午前9時30分、秩父鉄道大麻生駅前。  
交通：秩父鉄道熊谷9:09発、または寄居  
8:51発に乗車。

担当：大澤、森本、中里、倉崎、高橋（ふ）、  
後藤、藤田（裕）、栗原、飛田、新井（巖）、  
千鳥、鶴飼、岡田

見どころ：鳥たちが春を告げに来るこの季節、  
一昨年はヒレンジャクとキレンジャク、昨  
年はベニマシコと幸運に恵まれ、さて今年  
はどんな鳥にめぐり会えるでしょうか。

## 加須市・加須はなさき公園探鳥会

期日：3月13日（日）

集合：午前8時45分、東武伊勢崎線花崎駅改  
札口。集合後徒歩で現地へ。または午前9  
時、加須はなさき公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:22→久喜 8:35  
→花崎 8:42 着。JR宇都宮線大宮 7:58→久  
喜 8:23 で東武伊勢崎線乗り換え。

共催：加須はなさき公園管理事務所

担当：長嶋、中里、四分一、栗原、内田、植  
平、長谷川、茂木、竹山

見どころ：初心者の方、大歓迎！ マガモ、  
コガモ、ヒドリガモ、モズ、ツグミ、ジョ  
ウビタキ、ホオジロ、カシラダカ、アオジ  
など身近な野鳥を一から楽しめます。

## さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：3月13日（日）

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こり  
すのトトちゃん」像前。または午前9時15  
分、見沼自然公園駐車場。

担当：浅見、工藤、兼元、松村、赤堀、金子、  
船木、新井（勇）、山田（東）、野口（修）、  
柴野

見どころ：加田屋川の周辺、染谷の屋敷林を  
はじめ斜面林や農耕地、自然公園の池で探  
鳥します。カモたちは何種類残っているか  
な。上空をオオタカが舞うことも多く楽し  
みです。



ユキホオジロ 酷寒の道南で、ハマニ  
ニクの種子を食べていました。（小林茂）

## 神奈川県・城ヶ島探鳥会

期日：3月19日（土）

集合：午前9時20分、京浜急行三崎口駅改札  
口付近。集合後、9時33分発の路線バスに  
て現地へ。

交通：京浜急行特急（品川発8:06→横浜8:26  
→三崎口9:18着）に乗車。『三浦半島1 DAY  
きっぷ』がお得です。（品川から1900円、横  
浜から1400円）。

解散：正午ごろ、現地にて。

担当：小林（み）、青木、長谷川、長野

見どころ：沖に行くアビ類、ウミスズメ類。2  
年連続、嵐にたたられました。今年こそ  
は“適度な荒れ”を期待します。

注意：①バスツアーではありません。②前日  
午後5時気象庁発表の天気予報で、神奈川県東部の当日午前6時から正午までの降水  
確率が50%以上の場合は中止。各自、気象  
庁ホームページまたは電話（0468-177）で  
ご確認下さい。中止の場合、担当者は集合  
場所まで行きません。予報が外れて当日雨  
が降っていない場合も中止とします。

## 『しらこぼと』袋づめの会

とき：3月19日（土）午後3時～4時ごろ

会場：会事務局 108号室

## さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：3月20日（日）

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅  
東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、  
さいたま市立浦和博物館前。

## 北本市北本自然観察公園 栗原喜芳（鴻巣市）

12月26日、マヒワの情報を得て喜び勇んで鳥行（直行）。歩道を渡ったふれあい橋で早速ベニマシコの鳴き声。焦ってカメラの焦点が合わない。双眼鏡で確認すると間違いなくベニマシコ！ ラッキー！

八橋でカメラマンに挨拶。「9時半になればルリが来るよ」との情報。マヒワのポイントでは粘るもジョウビタキが愛嬌良く振る舞うのみ。園内をぐるりと回るが、マヒワに遭遇できず。しかし今季初めてアカハラを確認。そのほかカケス、シメ、シロハラ、アオジ、カワセミ、メジロ、ツグミ、カワラヒワを確認。9時半を過ぎて八橋に戻ると先ほどのカメラマンは既に退却。定刻出勤ではなかったよう。既に9時45分。

退却と思った瞬間、周りの灌木の中に動くものを発見、遅刻のルリビタキのお出まし！ シャッターが小気味よく返事。いつの間にかギャラリーが7～8名に膨らむ。「あと、マヒワの黄色が見られれば青、赤、黄色の信号色になる」と期待。結局粘るもマヒワには会えず。黄色はカワラヒワの少なめの黄色で我慢をして帰宅した。

夜はカメラで鳥合わせ、一人ルリビタキの写真で焼酎いっぱいグイー。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、青木、新部、渡辺、若林、小菅、赤堀、増田、宇野澤、須崎、船木、畠山、柴野

見どころ：桜の開花が例年早くなり、つぼみを楽しみながらの探鳥会になるのかな。メジロ、シジュウカラが代用水の桜並木で歌います。春の三室へどうぞ。

念の為：2月の例会が中止の場合、2月号でご案内の通り300回記念例会になります。

## 松伏町・松伏記念公園探鳥会

期日：3月20日（日）

集合：午前9時30分、松伏記念公園北口駐車場。

交通：東武伊勢崎線北越谷駅東口、①番バス乗り場から、茨急バス8:57発エローラ行きで「松伏高校前」下車。

担当：田邊、橋口、植平、大塚、吉岡（明）、榎本（建）、野村（弘）、野村（修）、森下、進士、佐藤、佐野

見どころ：どこにでもあるような公園と周辺の農耕地で、渡り鳥を探すことを通じて季節の移り変わりの共通体験をしましょう。野原の草花もきつと応援してくれますよ。それでは松伏記念公園で待っています。

## 長瀨町・宝登山探鳥会

期日：3月21日（月・祝）

集合：午前9時20分、秩父鉄道長瀨駅前。

交通：秩父鉄道熊谷8:00→寄居8:28に乗車。

解散：宝登山山頂梅園前。

担当：井上、小池（一）、佐久間、青山、大澤、堀口、鶴飼、岡田

見どころ：宝登山の山頂、梅林の前まで早春の花なども見ながら登ります。天気さえ良ければ、梅の香漂う中に奥秩父の山並みが望めます。（今月の特集をご参照ください）

## 栃木県・日光東照宮裏山探鳥会

期日：3月26日（土）

集合：午前9時25分、東武日光駅前。集合後、バスにて「総合会館前」まで移動。

交通：東武伊勢崎線春日部7:44発「快速」日光行き、または栗橋7:56→板倉東洋大前で8:11発「快速」日光行きに乗り換え、東武日光9:20着。

解散：午後2時ごろ、神橋付近にて。

担当：玉井、田中、中里、植平、浅見、佐野、佐藤

見どころ：コース全般にミソサザイが多くいて、そろそろさえずり始めます。その小さな可憐な姿を探しましょう。道の両側の木々には山の小鳥たち、空には渡ってきたばかりのイワツバメやタカが楽しめます。

## 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

担当：長谷部、藤掛、高草木、中村(祐)、山本(真)、久保田、石光、山口、星、水谷、間正

見どころ：半年ぶりにツバメ、イワツバメとの再開です。運がよければヒメアマツバメを加えた3種の乱舞が見られるでしょう。例年通りカタクリの自生地を通るコース。

## 行田市・さきたま古墳公園探鳥会

期日：3月27日(日)

集合：午前9時30分、県立さきたま史跡の博物館前レストハウス。

交通：JR高崎線吹上駅北口から、朝日バス行田車庫(佐間経由)行き8:50発で、「産業道路」下車、徒歩約15分。

担当：内藤、岡安、大坂、茂木、立岩、栗原、高橋(ふ)、長谷川、竹山、相原(修)、相原(友)

見どころ：古墳の桜のつぼみもほころび始める好季節となりました。冬鳥たちは、旅立ちの日も真近かで何かと大忙しです。

## 東京都・三宅島探鳥会(要予約)

期日：4月29日(金・祝)(夜行・船中泊)～5月1日(日)

集合：29日(金)午後8時30分、JR山手線浜松町駅(東京寄り改札口前)。

出航：29日午後10時30分、東京港竹芝栈橋。三宅島到着は30日午前5時の予定。

帰着：竹芝栈橋に1日午後8時30分の予定。  
費用：25,000円(1泊3食、2等往復船賃、懇親会費、保険料など)。過不足の場合は当日精算。その他島内常時必携ガスマスク代2,520円、島内移動バス代1,300円、集接地までの往復交通費などは別途各自負担。

所持品：30日の朝食と昼食。

定員：19名(埼玉会員優先、先着順)。

申込み：往復はがきに、住所、氏名、生年月日、年齢、性別、電話番号(携帯も可)、喫煙の有無を明記(乗船名簿記入、保険料、部

## 記録委員会最新情報

### ●コクガン

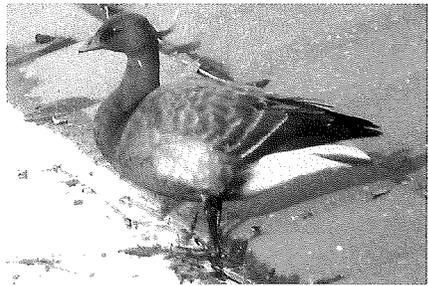
分類 カモ目カモ科コクガン属

英名 Brent Goose

学名 *Branta bernicla*

2010年12月15日付け埼玉新聞に、12月14日行田市須加付近の利根川でコクガンが写真撮影されたとの記事が、写真入りで掲載されました。記事では県内2例目となっていますが、当会記録では、2002年11月本庄市坂東大橋、2002年12月渡良瀬遊水地、2007年11月狭山湖に次ぐ4例目です。

坂東大橋と渡良瀬遊水地は本誌2003年1月第225号で報告済みですが、狭山湖は報告されていませんでした。多くの人に撮影されましたが、佐久間博文幹事の撮影した写真(下)を添えて報告します。



屋割りのため必要)して、藤掛保司  
まで。

3月1日消印以降から有効受付とします。

担当：藤掛、青木、石光、橋口、宇野澤、榎本(秀)

見どころ：昨年の探鳥会では43種を観察。バードアイランド三宅島探鳥ならではの多彩な鳥を楽しめます。

ご注意：①火山性ガスの影響があるかもしれません。呼吸器官等健康に不安のある方はご遠慮下さい。

②天候などで帰りの船が欠航し、予定通り帰れない場合もあります。

③宿泊は男女別の相部屋です。個室の用意は出来ません。



## 行事報告

11月3日(水、休) 松伏町 まつぶし緑の丘公園

参加：60名 天気：晴

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ オオタカ ノスリ チョウゲンボウ バン オオバン イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ホオジロ カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) (番外：ドバト) 今シーズンは池に来ているカモの数も少ない。毎年来ているミコアイサの姿も未だ見えないが、上空をコハクチョウと思われる3羽が通過してくれた。期待していたシラコバトは最後まで姿を見せてくれなかったのが寂しい。(橋口長和)

11月21日(日) 栃木県 奥日光

参加：34名 天気：晴

ハジロカイツブリ ミミカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ スズガモ カワアイサ トビ クマタカ オオバン イカルチドリ アオゲラ セグロセキレイ カワガラス ミソサザイ ヒヨドリ ツグミ エナガ コガラ ゴジュウカラ キバシリ ホオジロ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) 低公害バスの発車時刻より早く赤沼に到着したので、付近を探鳥した。探鳥会では初めてのスズメとホオジロを見る。柳沢川から見える遠くの木の天辺にクマタカを発見。飛んだ際に翼が膨らんだ姿を堪能する。中禅寺湖畔では、カモの識別で盛り上がった。季節外れのポカポカ陽気でお目当てのワシは、どこかへ行ってしまったが、日光から帰る時バスを約50羽のトビが見送ってくれた。(入山 博)

11月28日(日) 蓮田市 黒浜沼

参加：68名 天気：晴

カイツブリ カワウ カルガモ バン オオバン

タゲリ キジバト カワセミ アカゲラ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) (番外：ドバト) 幸先良く、出発直後にアカゲラが現れて盛り上がった。田んぼをのぞくと、下見の時には居なかった2羽のタゲリが到着していて全員がじっくりと見る事ができた。冬鳥達は枯れ残った木の葉や草の陰に隠れていて見つけるのに苦労したが、代わりにカワセミが何度もサービスしてくれた。(玉井正晴)

11月28日(日) 狭山市 入間川

参加：25名 天気：晴

カイツブリ カワウ コサギ マガモ コガモ トビ オオタカ イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) (番外：ドバト、ソウシチョウ) 今年も稲荷山公園のムクノキ食堂は大繁盛。おいしい木の実が無料で食べ放題。シロハラ、ツグミ、シメ、イカルが次々やって来た。鳥合わせの時意外な事実が判明。カルガモを誰も見てない。いつも記録されているのに、こんな日もあるんだなあ。(長谷部謙二)

12月4日(土) 加須市 渡良瀬遊水地

参加：46名 天気：晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ キンクロハジロ ミコアイサ ミサゴ トビ ノスリ チュウヒ ハヤブサ チョウゲンボウ オオバン ユリカモメ セグロカモメ キジバト アカゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ ホオジロ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (45種) (番外：ド

バト) 12月になっても寒さが来ない。水鳥達も非常に少ない。南ブロックではカンムリカイツブリ、カワウが目立つ。釣りたちを横目に、中ノ島まで進む。谷中ブロックではマガモとカルガモが大半、そんな時「トモエガモ！」とFさん。「どこどこー。」と声が弾む。ミコアイサ♀も数羽入っていた。定番のチュウヒも飛び、ハヤブサ、ミサゴも見られた。風が強くなり、小鳥の出が悪い中、そこそこの種が顔を出してくれた。(内田孝男)

12月5日(日) 北本市 石戸宿  
参加：49名 天気：快晴

カイツブリ マガモ カルガモ コガモ オオタカ ハイタカ ノスリ コジュケイ クイナ バン キジバト カワセミ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (30種) (番外：ガビチョウ) 快晴無風で気温も上がり暖かな探鳥となった。荒川の河川敷では快晴の青空に舞うハイタカとハシボソガラスのモビング、東屋跡(建物が無くなっていた)では、ノスリ2羽に対するカラスのモビングを見る事が出来た。ベニマシコ、ルリビタキ、アリスイ、ミヤマホオジロの出現は無かったが、既に来ているので、2月の探鳥会では、芦原も刈られ落葉も進み、もっと見易くなっていると思う。(吉原俊雄)

12月5日(日) さいたま市 民家園周辺  
参加：71名 天気：快晴

カイツブリ カワウ ダイサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ オオタカ チョウゲンボウ コジュケイ キジ バン オオバン イソシギ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 抜けるような雲ひとつない青空。その気持ちのよさに誘われたのか、71名もの参加者があった。今回も、たくさんの鳥たちに出会えたが、なんととってもオオタカ。その青空に何度も姿を見せてくれたり、目の前でツグミを狙ったと思われる狩りまで見せてくれた。そし

て高台で、目線の高さに停まって、ゆっくり観察させてくれたチョウゲンボウや、冬の小鳥たち。参加者の方々に、来てよかったと思ってもらえたのではないだろうか。(伊藤芳晴)

12月11日(土) 所沢市 狭山湖  
参加：35名 天気：晴

カイツブリ ハジロカイツブリ カンムリカイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヨシガモ オカヨシガモ オナガガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ トビ オオタカ ハイタカ ノスリ オオバン キジバト アオゲラ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ルリビタキ アカハラ シロハラ ツグミ エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ アオジ カワラヒワ イカル シメ スズメ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) (番外：ドバト、ガビチョウ) 珍鳥オオホシハジロか?と盛り上がった個体は、残念!ホシハジロだったが、トモエガモ、ヨシガモ、ミコアイサ等を観察出来た。好天の下、出足快調の狭山湖だった。

「集い来て鳥観る人のさざめきの治まりゆきて湖面静もる」(石光 章)

12月12日(日) 熊谷市 大麻生  
参加：33名 天気：快晴

カイツブリ カワウ カルガモ ハイタカ ノスリ キジバト アリスイ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ シメ スズメ ハシブトガラス (28種) (番外：ドバト) コハクチョウが行方不明のため野鳥の森に行くことにした。風が強くと鳥の姿が少ない。ゴルフ場と畑の間でシメ、カワラヒワの群れ、畑ではジョウビタキ♀がモズ♀に追われても遠くには行かない(気が強い)。何かいると思ったらアリスイ。大麻生探鳥会7年目だが初めて。残念ながら4人しか見られず。河川敷で木に止まっているノスリをじっくり観察。野鳥の森に向かい、カシラダカ、シジュウカラ、他には探しても鳥は見えず。池の所でマヒワが出てくれほっとした。水を飲みに来たシメ、ヤマガラ、シロハラを観察して終了。(千島康幸)



●愛玩飼養制度廃止の要望書

環境省の第 11 次鳥獣保護事業計画の意見聴取に対し、全国野鳥密猟対策連絡会(京都市)は「愛玩飼養(メジロ 1羽)制度廃止」の運動を進めています。

環境省では 5 年ごとに鳥獣保護事業計画を見直し「基本指針」として全国に示しています。その中の「愛玩飼養」という制度が問題で、1 世帯 1羽のメジロなら捕獲飼養してもよいとしています。(埼玉県では新たな捕獲は許可されません。) 当会は、密猟の動機となる愛玩飼養制度を環境省の「基本方針」の段階で廃止する呼びかけに賛同し、環境大臣あて要望書を送りました。

●念の為の鳥インフルエンザ対策

鳥インフルエンザウイルスは、通常の状態では人に感染することはないと考えられていますが、次のことにご注意ください。①野鳥など野生生物の死体を素手で触らない。②同じ場所で多数死んでいる場合は市町村役場に連絡を。③野鳥などの排泄物に触れた場合は手洗いとうがい。④排泄物を踏んだ場合は靴の消毒を。

●財団(本部)公益財団法人への移行時期など

12 月 24 日(金)付け本部からの報告によれば、2011 年 4 月 1 日付け移行を目指すことになったとのこと。

1 月 7 日付け報告によれば、内閣府における支部名称の扱い方針が大きく変更され、「支部」と名乗ることができるようになったと驚きの連絡。当会役員会では、もともと指導監督を受ける「本部支部」的關係ではなく、各個独立した団体が協力して活動する「連携

団体」的性格が強い関係であり、その通りに明確な位置づけができたものと名称変更をプラス評価、支部名に戻さない方向で情報収集を進めようと話し合っています。

●会員数は

2 月 1 日現在 2,017 人。

活動と予定

1 月 15 日(土) 2 月号校正(海老原美夫・大坂幸男・長嶋宏之・藤掛保司・山田義郎・山部直喜)。

1 月 16 日(日) 役員会(司会:石川敏男、各部の報告・愛玩制度・会の名称・その他)。

1 月 24 日(月)「埼玉会報だけの会員」に向け 2 月号を発送(倉林宗太郎)。

1 月 31 日(月) 浦和ロイヤルパインズホテルで開催されたさいたま市見沼田圃基本計画フォーラムに出席(藤掛保司)。

●3月の予定

3 月 5 日(土) 編集部・普及部・研究部会。

3 月 12 日(土) 4 月号校正(午後 4 時から)。

3 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。

3 月 20 日(日) 役員会(午後 4 時から)。

編集後記

先週の土曜日、天覧山でムササビを見て来ました。短い距離を滑空する姿と、とまった木をよじ登って、更に別の場所に滑空して行く姿が見られました。時間にして 30~40 秒くらい。音もなく夜空を滑空する姿は、神秘的でした。(藤原)

白黒のカット写真には少しもったいないけど、次の月以降にまわすと季節的にはどうかな? 編集担当のひとりとしてそんな嬉しい悩みが大好きです。発行月の季節感に合った写真はもっと好きです。(海)

しらこぼと 2011 年3月号(第 323 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)

発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉 郵便振替 00190-3-121130

〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号

TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 http://35.tok2.com/wbsjsaitama/

編集部への原稿 yamabezuku@hotmail.com 野鳥情報 toridayori@hotmail.com

住所変更退会などの連絡先は 〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル

(財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5436-2630 FAX 03-5436-2635

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社